

# みやぎハイスクール通信

発行日：令和4年8月31日

発行者：宮城県教育庁高校教育課

<https://www.pref.miyagi.jp/site/sub-jigyou/gak-mailmaga-bknum.html>

県立高校の旬な情報をお届けします。マナーアップ通信、部活動やボランティア活動などの各学校の特色ある取組、学校紹介、コラム、お知らせなど各高校の魅力的な取組の情報が満載です。中学生の皆さんの進路選択にぜひ御活用ください。

## 8月号の目次

### 1 マナーアップ通信

- (1) 伊具高校                      (2) 名取高校                      (3) 古川黎明高校

### 2 特色ある取組

- (1) 仙台向山高校                  (2) 宮城野高校                  (3) 松島高校  
(4) 黒川高校                      (5) 岩出山高校                  (6) 加美農業高校  
(7) 小牛田農林高校              (8) 本吉響高校

### 3 学校紹介

- (1) 蔵王高校                      (2) 仙台三桜高校                  (3) 泉高校  
(4) 南郷高校                      (5) 古川高校                      (6) 岩ヶ崎高校  
(7) 迫桜高校

### 4 コラム

- (1) 宮城第一高校

### 5 お知らせ

- (1) 柴田高校

# 1 マナーアップ通信

## (1) 伊具高校 <毎月15日 交通安全/マナーアップ運動>

伊具高校では、毎月15日に朝のあいさつ運動と自転車マナーアップ運動を行っています。8時からの30分間、校門前の挨拶運動と学校近隣の交通量の多い交差点で、登校してくる生徒への挨拶、交通安全の呼びかけをしています。当日は、生徒会、生活向上委員会、交通安全委員会の3つの委員会が合同して活動しています。また、同日に丸森町内各所で交通安全指導が行われ、地域と連携した交通安全指導を実施しています。交通安全指導に関しては、防犯・交通安全教室の他、地域の自転車業者の方に協力いただき、バイク・自転車点検も実施しています。自転車・バイクの整備から交通安全の意識を高めています。



今後とも、交通安全、挨拶を身に付けられるよう、生徒が主体となって活動していきます。

< 学校のホームページはこちらです >

<https://igu.myswan.ed.jp/>

## (2) 名取高校 <生徒指導部 マナーアップ運動について>

名取高校では、全校生徒の半数以上がJRを利用して登校しています。

そこで、毎月中旬に、岩沼駅周辺の通学路において、生徒会役員と交通安全委員が中心となってマナーアップ運動を行っています。登校中の生徒に対し、朝の挨拶とともに、交通マナーの遵守や身だしなみの意識向上について呼びかけをしています。

地域の方々から愛される学校を目指し、今後もこの活動に取り組んでいきたいと思ひます。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://natori-h.myswan.ed.jp/>

### (3) 古川黎明高校 <生徒が自ら考える, マナーアップポスター>

コロナ禍3年目。さまざまな行事や活動が制限され、委員会活動も新型コロナウイルス感染症流行以前のように活動することができていません。

しかしながら、本校ではできる範囲での活動をしようと、各委員会で工夫を凝らしています。

特に今年度は、大崎市民古川会議の活動の1つである健全育成標語の作成にも応募するなど、健全育成・非行防止の意識が高まっています。また、毎年風紀委員はマナーアップに関して年度初めや衣替えの時期にポスターを作成しています。今年度も挨拶や身だしなみ・自転車のマナーについて、どのようなポスターなら人の目を引き、注意喚起できるのか、生徒自身が考えポスターを作成しました。

個性豊かなポスターの数々は生徒の目にとまり、モラル・マナーの向上を図っています。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://freimei-h.myswan.ed.jp/>

## 2 特色ある取組

### (1) 仙台向山高校 <理数科行事>

本校の理数科は、自然科学分野の学習を深めることが学科の特徴ですが、そのためにさまざまな体験、経験を大切にしています。理数科の1年生では分野ごとの野外巡検が豊富に用意されています。

例年、生物分野として、東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センターでフィールドワークを行っています。午前には各班に分かれ、有機栽培と化学肥料を用いた栽培（慣行栽培）による稲の成長及び水田の生態系について調査し、午後は収集したデータの分析を行い、その結果から異なる環境での稲作への影響について考えます。また、本校卒業生や大学院生から大学生活や研究について話を聞く機会もあります。

上記のほか、8月には月山での野外巡検、化学分野では東北大学金属材料研究所への研究所訪問、地学分野では11月に泉区焼河原周辺巡検、物理分野では1月に仙台市天文台における学習も用意されており、学校では学べないスケールの大きな体験学習を行うことができます。また、数学分野では大学の先生に来ていただき講演会を行っています。

いずれの活動も、生徒たちの中にある興味関心を引き出し、自然科学のセンスを磨く貴重な時間となるばかりでなく、2年生で行う「理数探究」につながる大きな学びとなっています。

皆さんも、仙台向山高校理数科で充実した学習をしてみませんか？



< 学校のホームページはこちらです >

<https://mukaiyama.myswan.ed.jp/>



## (2) 宮城野高校 〈プレゼミナル中間発表会〉

宮城野高等学校は、令和4年度入学生から、現在の3学科体制を「普通科」「美術科」の2学科体制に改めました。総合学科を中心に培ってきた探究学習を継承・発展させ、異年次異学科で多角的な視点から未来社会を構想して未来デザイン力を育成する「未来構想ゼミナル」を開講します。この「未来構想ゼミナル」を柱とし、地域や大学とも連携した学びの実践により生徒の自主性・主体性を育む新たな歩みを始めます。

令和4年7月6日（水）に、2年次プレゼミナル（総合的な探究の時間）の中間発表会を実施しました。プレゼミナル4系統7領域毎に、ポスターセッションや、パワーポイントによるプレゼンテーション、ステージ発表など、様々な内容・手法による発表が行われました。その発表を1年次が見学に戻り、活動のイメージを膨らませ、後期から自分自身が所属して活動するゼミの選択をしていくことになります。



### 【実習体験系】

児童館での教育プログラム企画をプレゼンした



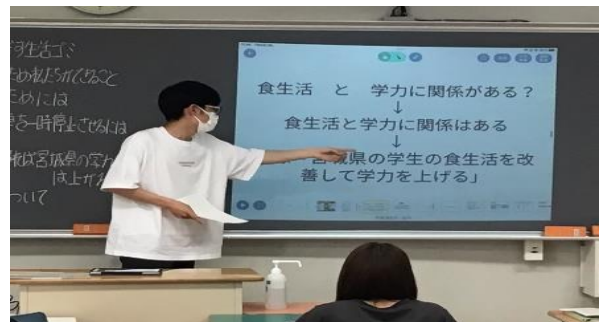
### 【学問探究系】

自分のテーマに応じた書籍の新聞を作成し紹介した



### 【表現芸術系】

ミュージカルを体育館ステージで発表した



### 【課題解決系】

身近な社会の課題についての解決策をプレゼンした

〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://miyagino.myswan.ed.jp/>

### （３）松島高校 <進路説明会（２・３学年対象）が実施されました>

令和４年６月１日（水）５・６校時に進路説明会を実施しました。

進路説明会は、大学・短大・専門学校、企業の方から直接お話を伺うことで、生徒の進路希望の明確化と学習活動等の取組を充実させることを目的としています。

当日は、大学・短大・専門学校・高等技術専門学校１４校、企業１１社の御協力を賜り、求める人物像など有意義なお話をいただきました。

参加した生徒は、「生涯勉強という言葉が印象に残りました。また、進学後は自分で時間割を作り、幅広く学べることから進学したい気持ちがますます強まりました」、「お客様への思いや他社との違い、新しい取組をうかがい社員としてどのような気持ちで臨むかを教えていただきました。難しいと感じましたが入社したいと思いました。」と感想をそれぞれ述べていました



< 学校のホームページはこちらです >

<https://matsushima-h.myswan.ed.jp/>

### （４）黒川高校 <ものづくりコンテスト測量部門東北大会出場！>

黒川高校の「環境技術科」は、建設現場で必要な知識・技術・技能を学び、環境問題に取り組み循環型社会の進展に貢献できる環境に優しい技術者を育成しています。

７月２７日（水）には「高校生ものづくりコンテスト 2022 測量部門」の宮城県大会が石巻工業高校を会場にして行われました。本校からは選抜された３年生５名（競技者３名・補助２名）が出場し、高精度の測量器械器具を用いての正確な観測や、得られたデータをもとにした精密な計算などの測量の技術を競いました。暑い一日でしたが黒高チームはチームワークよく練習の成果を存分に発揮し、昨年度に続き見事に宮城県第１位となり、東北大会への出場を決めました。「東北大会は８月２０日（土）に山形県酒田市で行われます。宮城県の代表として他県代表の生徒と堂々と競い合い、全国大会出場を果たしてほしいものです。」

ものづくりや測量技術に興味があり、環境問題や循環型社会の在り方などについて深く学びたいと思う中学生の皆さんは、ぜひ黒川高校環境技術科への進学を考えてみてください！



< 学校のホームページ  
はこちらです >

<https://kurokawa.myswan.ed.jp>



## (5) 岩出山高校 <小学生への絵本の読み聞かせ活動に取り組みました！>

今回は、志教育の一環である「読み聞かせ」について紹介します。3年生の選択科目「子どもの発達と保育」を選択している本校生徒が、岩出山小学校を訪問して、絵本の読み聞かせを行いました。授業の中では小学生が分かりやすいように話し方や絵本の持ち方を工夫したり、手作りミニ絵本では、小学生に喜んでもらえるような内容や仕掛けを工夫しました。小学生はとても心待ちにしていた様子で、生徒達は小学生の質問に積極的に答えたり、楽しく参加する様子がたくさん見られました。年間9回の実施を予定しています。

これからも岩出山高校は、「地域に学び、地域に育ち、地域を担う」人材育成に向けて頑張っています。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://iwadeyama-h.myswan.ed.jp>

## (6) 加美農業高校 <「農業クラブ」とは何ですか？>

農業クラブとは、全国で農業を学ぶ高校生によって組織された団体です。将来の農業の担い手として必要な「社会性」、「科学性」、「指導性」の育成を目標に掲げ、そのために知識や技能を磨き、その成果を発表したり、各種技術競技会で競ったりしています。例えば、農業に関する意見発表（写真1）、測定の精度を競う測量競技（写真2）、データをもとに情報を処理する正確さを競う情報処理競技（写真3）、よい牛を選ぶ家畜審査競技（写真4）などがあります。

今年度、本校生徒は平板測量競技会の県大会で見事2年連続1位となり、上位大会に向けて頑張っています。みなさんも農業高校ならではの農業クラブ活動に挑戦してみませんか。

学校のウェブサイトでは本校の農業クラブの活躍をブログで公開しています。是非御覧下さい。



写真1 意見発表会の様子



写真2 測量競技会の様子



写真3 情報処理競技会の様子



写真4 家畜審査競技会の様子

< 学校のホームページはこちらです >

<https://kamino-h.myswan.ed.jp>

## (7) 小牛田農林高校 <農業土木コース 現場見学会>

本校農業技術科農業土木コースでは、1年次に現場見学会を実施しています。今年は6月30日（木）に二ツ石ダムと桑折江頭首工へ行ってきました。見学した2つの施設は、世界農業遺産にも認定されている「大崎耕土」に欠かせない水の管理をしています。ダムの頂堤からダム一面の貯水を見たときに、この水が大崎耕土を潤し、私たちの大好きなお米の源になっており、これらの施設が、土木技術者の手により測量され、設計し、建設されたものなんだと実感させられました。

また、「監査廊」というダムの堤体内は、一般の人は立ち入れない場所ですが見学し、一種の冒険気分を味わいました。

学習の場ではありますが、遠足にも似た雰囲気の中、級友との親交も深められる充実した行事となりました。

この行事をさきがけに、「EE 東北見学会」、「現場実習」などの行事を経ながら、土木技術者としての心構えが培われ、最近では公務員やドボジョ（女性土木技術者）として多くの卒業生を輩出し、それぞれが地域社会で活躍しています。

農業土木コースの公務員進路先

【令和元年度】

宮城県職員5名、大崎市職員1名、栗原市職員1名

【令和2年度】

宮城県職員4名、大崎市職員1名

【令和3年度】

宮城県職員5名、加美町職員1名



< 学校のホームページはこちらです >

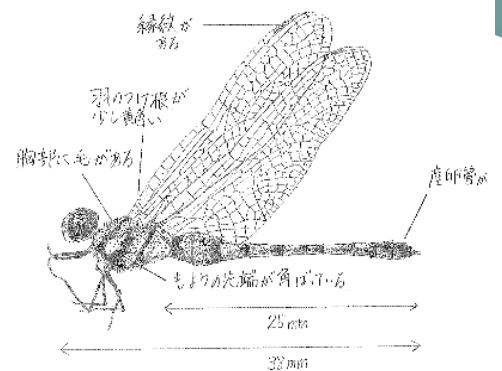
<https://kogotanourin.myswan.ed.jp/>



## (8) 本吉響高校 <豊かな自然との“響生(きょうせい)”を目指して>

本吉響高等学校には、全国的に見ても非常に珍しい「自然観察」という授業があり、3年次で選択することができます。本校は、桜やコナラなど様々な樹木が並ぶ「桜が丘」と呼ばれる場所にあり、学校周辺は水田や河川など多様な環境に囲まれています。生息する生物の種類も豊富で、都市部で数を減らしている生物も多く観察できます。これらの豊かな自然を活用し、身近な自然環境について学ぶ授業が自然観察です。季節や天候を問わず、毎回のように外に出て生物を採取し、実験室で観察します。採取した生物は、「スケッチ」をすることで細部まで観察し、生物の種類や特徴を調べます。対象となる生物は、草花や樹木、コケ植物や野鳥などです。水生生物や土壌動物を利用した環境評価を行ったり、トンボの採集と標本作製も行ったりしています。

自然観察の授業をとおして、生物の「多様性」について学び、環境問題を考えるきっかけにしています。皆さんも、本校の校訓の一つである「響生(自然や人と調和しながら生きる)」を目指し、日々身近な自然を観察してみませんか。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://hibiki-h.myswan.ed.jp/>

## 3 学校紹介

### (1) 蔵王高校 <蔵王から未来へ>

本校は普通科高校としては県内で最も規模の小さな学校です。そのため、生徒と教員の距離が近く、個に応じた学習が充実しています。習熟度別学習の推進、ティーム・ティーチング授業の実践、全教室に設置されたプロジェクターをはじめとしたICT機器の活用など、「わかる授業」の創造を目指した工夫に取り組んでいます。

また、町や近隣中学校と連携し、地域防災の未来を担う人材の育成を目指した防災教育「PSF (Project Shoulder the Future)」や、地域貢献について3年間を通して考えを深める「ZAP (蔵王あすなるプロジェクト)」、1年生から3年生まで毎週1時間、少しずつ進路についての考えを深めていく「蔵王タイム」など、地域や社会から必要とされる人材の育成を目指した取組を行っています。それぞれの進路に応じた個別の科目選択も豊富に用意されており、生徒一人一人がそれぞれの個性を輝かせることの出来る環境が用意されています。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://zao-h.myswan.ed.jp/>



## (2) 仙台三桜高校 <7月1日(金) 合唱コンクール>

3年ぶりに合唱コンクールが仙台サンプラザホールを開場に実施されました。3年生にとっても初めての行事だったので、合唱曲、指揮者、そして伴奏者を決めるにも苦労したようでした。さらに、コロナ禍でたくさんの制限があり、練習計画もままならない中でも生徒達はこの伝統行事を絶やすまいと頑張りました。

### 【合唱コンクールを終えた生徒の感想】

#### ・3年実行委員長(女子)

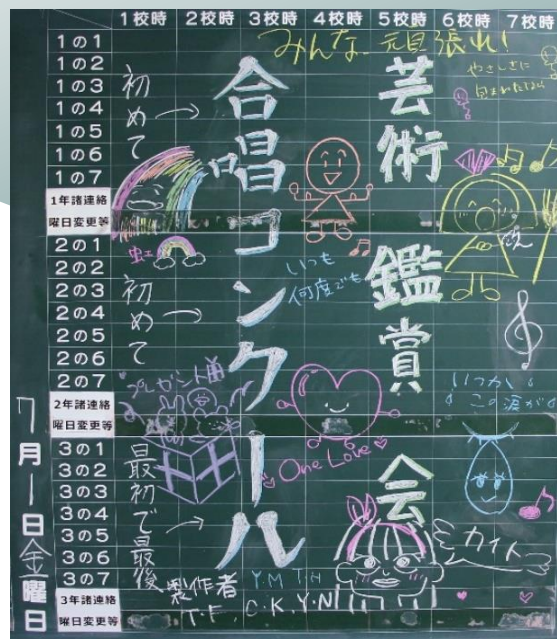
7月1日(金)に仙台サンプラザホールで合唱コンクールが行われました。生徒全員が経験したことのない行事で不安でした。しかし、分からないなりに小物や振り付けを工夫していて、とても華やかで思い出に残る行事になったと思います。コロナ禍でたくさんの制限があり、コロナ前の本来の形には戻らなかったけれども、自分たちの持っているすべての力を出し切れたと思うので良かったです。今までにないくらい盛り上がった午後の芸術鑑賞とあわせて、学校生活で一番の思い出になりました。

#### ・2年実行委員(女子)

私が合唱コンクールで一番大切にしたいことは、合唱を通して歌うことの楽しさをみんなが忘れないことです。音程やリズムが重要なことはもちろんですが、それらはあくまで合唱を楽しむための一面に過ぎないと思います。短期間での練習、予定の変更などたくさんの苦労があったけれども、リハーサルや本番でクラスのみならず一つの合唱を完成できたときに共有した達成感は今でも鮮明に残っています。この達成感を共有することが合唱を楽しむことだと感じました。そして、そのことが私にとってかけがえのない宝物になりました。

#### ・1年実行委員(女子)

三桜生としての初めての合唱コンクールで、私は実行委員として自分のクラスのことはもちろん、全体の運営においてもこの行事が成功するように万全の準備をして臨みました。本番当日、私たちのクラスは直前まで未完成な部分がありましたが、いざ本番ではクラスのみならず心をあわせて課題を克服したことで、トップバッターというプレッシャーを跳ね返して今までで一番の合唱をすることができました。その結果、私たちのクラスは賞を取ることができてうれしかったです。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://sen3o-h.myswan.ed.jp/>

### (3) 泉高校 <生徒主体の文化祭, 2年ぶりの保護者公開>

今年度の文化祭が感染症対策を実施の上, 7月8日(金), 9日(土)の二日間開催され, 9日は3年ぶりの3年生保護者への公開となりました。感染症対策のため全校生徒が体育館に集まらないなか, 生徒中心で例年とは異なる文化祭の形を作り上げました。

生徒同士で要望をすり合わせ実現した文化祭は, ステージでの吹奏楽部の演奏や新体操部, チアリーディングの発表, 書道のパフォーマンスから始まり, 9日には各文化部の作品展示や軽音楽ライブ, 脱出ゲームや縁日などが行われ賑わいました。また, 感染症対策で制限された中でいかに多くの人に楽しんでもらえるか生徒同士で知恵を出し合った結果, 多くの装飾品や展示物などで校内は彩られ, 多くの笑顔であふれました。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://izumihigh.myswan.ed.jp/>

### (4) 南郷高校<歩き出そう! 南郷高(でんとうこう)の誇りを糧に!>

「礼譲和協」の校訓のもと, 昨年度に創立90周年を迎えた伝統ある学校です。今年度は, これまでの取組を踏まえ, 「歩き出そう」を活動テーマに, 地域とつながる学校を目指していきます。現在は, 地域を植栽活動やプランター配布によって花いっぱいにする活動(フラワーサービスプロジェクト)と, 南郷の大地に豊かな水資源をもたらす世界農業遺産・大崎耕土の学習や各種の支援活動を通して「SDGs」(持続可能な開発目標)に積極的に取り組んでいます。

数年後, 本校は“「食」をテーマに様々な職業専門的学びを展開”する高校として生まれ変わります。南郷高校として培ってきた志の高いチャレンジ精神と, 不易流行の気持ちを大切に, これまで以上に地域との交流を進め, 恩返しをしていきます。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://nango-h.myswan.ed.jp/>



## (5) 古川高校 <古高 夏の陣>

7月22日(金)、23日(土)に開催された古高祭で、生徒は文化部の発表を堪能し、クラスの団結を示したクラスパフォーマンスを楽しんだ後は、夏休みにまっしぐら。今年の夏休みは7月27日(水)から8月18日(木)までの約4週間です。今年も夏に新型コロナウイルスの感染者数が増えて、なかなか思い通りの生活が出来ませんでした。勝負の夏、古高生は、感染症拡大防止対策を取りながら、勉強に、部活動に充実した毎日を過ごしました。

1学年では例年、休みに入るとすぐに学習合宿を開催したり、東北大学のオープンキャンパスに参加したりしていましたが、新型コロナウイルスの影響で学習合宿は実施できなくなり、東北大学のオープンキャンパスも学校単位での参加はできなくなりました。それでも、7月中に課外講習を実施し、今後につながる国数英の基礎力強化に努めました。また、大学のオープンキャンパスへの参加を促し、卒業後の進路への気持ちを高めるきっかけを持たせています。

2学年では、夏休み中に開催される大学のオープンキャンパスへの参加を推奨しました。7月中には、希望者を対象とした課外講習を実施しました。また、例年実施されてきた他校との合同合宿の代わりとなる、宮城県教育委員会主催のオンライン「夏の特訓ゼミ」が8月3日(水)から5日(金)の3日間開催され、難関大学への進学を希望する17名が参加しました。部活動も3年生が引退して、いよいよ本格的に2年生が主体となって部活動を運営していきます。2年生が中心となって、暑く長い夏休みの練習時間をどのように過ごすのか、こちらでも頭を使いながら、体力技術の向上に励みます。

3年生は入試に向けて勝負の時を過ごしています。7月27日(水)から8月5日(金)まで、夏期課外講習が実施されました。一日90分×5コマ(8:20~16:50)の設定です。冷房施設のある講義室をフルに活用し、猛暑下においても、快適に講習に集中することができます。また、古川高校には、個別に仕切られた学習スペース80席が生徒会館(蛍雪会館)2階に設置されており、冷房の効いた室内で、多くの生徒が朝早くから夕方6時半の下校時まで学習に励んでいます。図書室でも毎日決まった場所で、熱心に学習に取り組む生徒が多く見られ、各自自分にスイッチが入る場所を確保しながら、集中して学習に取り組んでいるようです。



3B講義室での講習風景

< 学校のホームページはこちらです >

<https://furuko.myswan.ed.jp/>

## (6) 岩ヶ崎高校 <岩高伝統行事 健康強歩大会について>

今回のハイスクール通信は、本校の伝統行事の1つ、「健康強歩大会」についてお伝えしたいと思います。

この行事は、昭和44年の「マラソン大会」が始まりで昭和54年に「健康マラソン大会」に変更となり、その後「健康競歩大会」という名称へ、そして平成12年から「健康強歩大会」と改称し現在に至り今年度は53回目になります。

この「強歩大会」は、女子は9時5分、男子は9時15分に出発し、旧栗駒町内22kmのコースを歩き(走り)、6時間以内に学校に戻ってくるという行事です。一見すると過酷な行事に見えますが、生徒たちは各々紅葉を楽しみ、休憩を挟みながら、楽しんで完走しています。もちろん生徒の中には、この22kmを2時間程度で走りきり、学校に戻ってくる者もおります。

また、昨年は保護者主催でゴールした生徒から「お楽しみ抽選会」でクジを引き、大いに盛り上がりました。これまでも保護者の方々の協力を得て、「トン汁」と「おにぎり」を振る舞ったり、ある年はコース途中で「焼き鳥」を焼いて生徒たちに食べてもらったり、またある年にはコース周辺の近隣の方々が「おかし」や「おにぎり」を「ガンバレー」の声と共に生徒たちに提供していただいたりと、地域の方々にも理解と協力を得られている大会でもあります。

今年は、10月14日(金)に実施する予定です。もし、興味がありましたら、コロナ対策を充分に行い、沿道で岩高生たちに応援の声を届けていただけたら幸いです。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://iwagasakikou.myswan.ed.jp/>

## (7) 迫桜高校 <教育課程の特色>

迫桜高校では、約150の選択科目の中から、生徒自身がそれぞれの進路に必要な科目を選択し、「自分独自の時間割」を作ります。

科目選択のためには、生徒一人一人が自分自身の進路を考える必要があります。そのため、まず「産業社会と人間」という科目を1年次で学習し、進路について深く考えてもらうことにしています。この「産業社会と人間」は、科目選択のための学習、職業人講話、ライフプランニング等を通して、様々な角度から自分の将来について見つめる科目です。

その上で、生徒自身で科目選択を考える材料として、迫桜高校では進路に応じた科目選択のモデルを《系列》として示しています。《系列》は人文国際、自然科学、福祉教養、情報ビジネス、エンジニアリング、アグリビジネスの6つです。この系列を参考にして自分の科目を選択することになります。写真は5月に行われた、系列ごとの体験授業(エンジニアリング系列)の様子です。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://hakuou.myswan.ed.jp/>



## 4 コラム

### (1) 宮城第一高校 <研究室訪問>

宮城第一高校では、秋桜探究学の一環として「研究室訪問」を行っています。今年度は6月21日(火)に1年次生を対象に、東北大学の3つの施設・研究室を訪問してきました。

東北大学「サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター」ではPET診断装置を見学。装置の概要やメカニズム、放射線が及ぼす影響などについて説明を受けました。東北大学大学院理学研究科須賀利雄教授の研究室では、物理学研究棟と東北大学災害科学国際研究所を見学。研究所では、医学部や歴史学も含めた文理融合の研究が進められていることを生徒達は実感したようです。東北大学大学院経済学研究科日引聡教授の研究室では「経済学はどのように役に立つのだろう?」と題した模擬講義を聴講。実際に日引研究室にも伺い、大学という場での日々の研究活動を肌で感じてきました。

研究室訪問は大学院生や留学生との交流の場でもあります。参加生徒からは「数学は文系の経済学でも使うため、しっかりやっておいた方が良いとアドバイスいただいた。これから頑張りたい。」などの声も聞かれ、高校の勉強と大学の学びのつながりや進路選択のヒントも得て、今年も充実の時間となりました。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://miyaichi.myswan.ed.jp/>

## 5 お知らせ

### (1) 柴田高校 <第2回オープンキャンパス・学校説明会開催>

7月30日(土)、第1回オープンキャンパスが開催され、暑い中多くの方々に御参加いただきました。ありがとうございました。

そして、「今回は予定が合わず参加できなかった」「もっと柴田高校について知りたい」そんな皆さんに朗報です。本校では年に3回、学校説明会を実施しています。次回は10月1日(土)に第2回オープンキャンパスを開催します。これは本校の特色である体育科を志望する皆さんに向けたものとなっており、体験できる部活動も専攻実技の6種目のみとなっています。体育科を考えている皆さん、参加をお待ちしています。

さらに10月29日(土)には入試相談会を行う予定です。普通科・体育科両方を対象としており、オープンキャンパスの内容に加え、個別相談会を実施します。入試の準備が本格的に始まる時期に、不安なことなどあれば相談することが可能です。

チャンスはあと2回!中学生の皆さん、ぜひ直接足を運んでみてください。そのほか学校生活や入試について疑問点等あれば気軽にお問い合わせください。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://sibata.myswan.ed.jp/>